

夏休み こども科学実験館

「好奇心」と「科学する心」が反応することで
「スマイル」が生まれる

住友スリーエム株式会社

(以下住友スリーエムグループ)の取組紹介

住友スリーエムグループでは、11年前より地域貢献の一環として、毎年本社近隣の世田谷区の小学生を対象に本ビルで「夏休みこども科学実験館」を実施してきました。企業の特色を十分に生かした、子どもの興味を引き付ける数多くの実験を行ってきました。

今年度のプログラム紹介

ガリレオ温度計・形状記憶樹脂・風の科学・電気の科学



▲ ガリレオ温度計



▲ 形状記憶樹脂



▼ 風の科学



▼ 電気の科学

プログラムは毎年変わります。常によりよいプログラム作りを目指しています。

この取組のここがすごい！

☆ 身近な材料を上手に活用し、「驚き」の連続で 子どもたちの興味・関心を引き出す

ほとんどの実験は、どの家庭にもある身近な材料を使って行われます。ペットボトルや食塩水など、普段何気なく使っているものや、家庭で簡単に作れるものでも、ちょっと工夫するだけで様々なことができることに子どもたちは驚きます。また、シャープペンの芯で電球の仕組みを再現したり、ホバークラフトの原理を利用したおもちゃ作りをしたりと、プログラムも変化と工夫に富んでいて、子どもたちの好奇心や探究心を十分に刺激します。参加している子どもたちの生き生きと活動する姿が、とても印象的でした。理科離れが懸念されている最近ですが、子どもの意欲や関心を上手に引き出すことの大切さを改めて感じる事ができた1日でした。

担当の皆さんにお話を伺いました！

マーケティング本部・コーポレート コミュニケーション部
西田 泰さん・杉山 博子さん・加藤 昌さん・岸田 祥子さん

☆ 運営はすべて社員ボランティア

『住友スリーエムグループでは、アメリカにある本社の精神を受け、ボランティアの育成及び活動の実践に力を入れてきました。今年度の「夏休みこども科学実験館」には80名のボランティアが参加しましたが、入社式後の説明会等

の実施により、2年目までの社員が19名も参加しました。こうして、ボランティアの裾野が広がり、社員誰もが自然にボランティア活動に携わることができるようになることを目指しています。』

杉山さん(左)と西田さん



この「夏休みこども科学実験館」は、すべてボランティアの人たちによって運営されています。実験プログラムは、主に技術者の人たちが考えるのですが、身近な材料を使って、いかに子どもたちの驚きを引き出すかということにチャレンジし続けています。子どもたちの感動する姿を見ることは技術者たちの励みになるとともに、さらに意欲を高めることにもつながっていきます。

また、当日は130名以上の子どもが全部の実験を体験できるように、4つのグループに分かれ、グループごとに時間を決めて移動します。準備も含め、全体をスムーズに進行させるのは大変ですが、それでも「子どもたちの、笑顔が忘れられない」「また、あの笑顔に出会いたい」という思いで取り組んでいます。

このような、ボランティアの皆さんの熱い気持ちが、11年間、この活動を支え続けているのです。

加藤さん(左)と岸田さん



☆ 地域貢献と今後の展開

『地域貢献を目指し、1996年から始まったこの取組も、毎年工夫を重ね、現在では地域や社員にもかなり浸透しています。全国にある5か所の事業所でも同様の取組が始まりました。次年度は関西の事業所でも取組が始まります。今後は、さらに子どもたちが楽しめるプログラムを開発していくとともに、本社はもちろん、各事業所にしっかりと根付かせていきたいと考えています。より地域に密着し、地域の子どもたちが毎年楽しみにしてくれるものであり続けたいです。』

☆ 終わりに

住友スリーエムグループでは、この取組がスタートして11年、プログラムの開発はもちろん、実験時の安全管理や昼食中のアトラクション開催(囲碁・将棋・いけばな教室)など、子どもたちが楽しく安全に参加できるように、あらゆる面で様々な努力・改良を続けています。これからも多くの子どもたちに、科学実験を通して科学の楽しさを伝え続けていくことが期待されます。

連絡先

東京都世田谷区玉川台2-33-1

住友スリーエム株式会社 コーポレート コミュニケーション部

電話: 03-3709-8217 FAX: 03-3709-8751

住友スリーエムグループのホームページ <http://www.mmm.co.jp/>